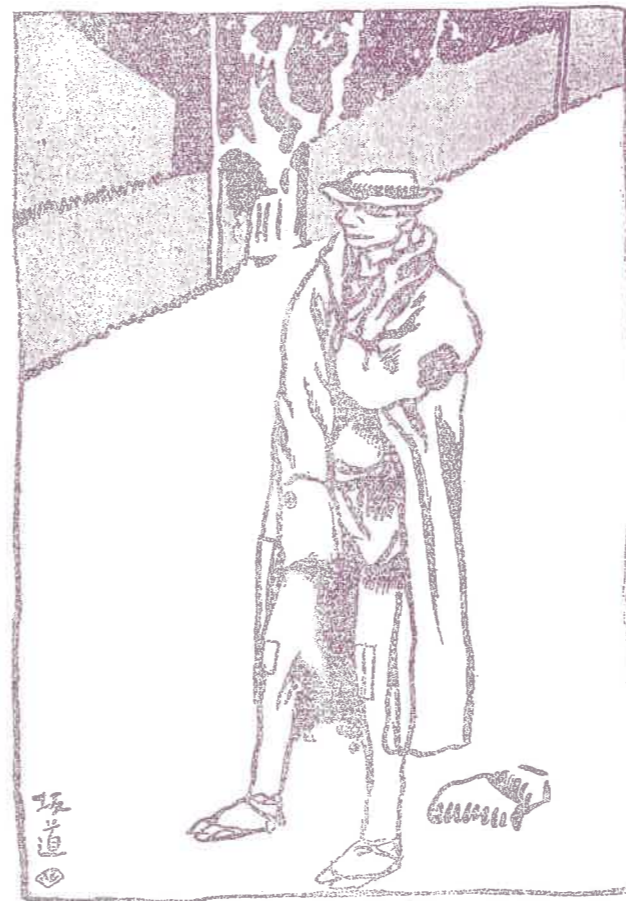


人物誌の枠を拡大し、需用の多い資料を選定。
学校・公共図書館などの基本図書。

日本人物誌選集

第二回全7巻

紀田順一郎 監修・解説



クレス出版発行

刊行の辞

書誌研究家

紀田順一郎

わが国において人物論が盛んであった時代は、第一に明治後期、第二に戦後の十年間ほどであろう。その理由はいうまでもなく、激動期には必ず多くの人材が輩出し、しかも彼らのほとんどが経歴資質などの面で未知の存在というにほかならない。いわば当面必要な人物情報ということであるが、時を隔てること数十年、現代の研究者にとっては同時代の得難い生資料となっっていることはいうまでもない。

一口に人物情報といっても、明治時代に刊行された人物論は、各県別の人物誌という体裁で、内容は藩政期の人物か、明治中期以降の官界中心が多い。それが大正昭和と時代を下るにつれ、人物の価値観も変化し、産業界、学界、教育界、そのほか文化各界というようにジャンルの拡大をとげる。大正中期以降の特徴としては、人物論の発表舞台として、雑誌ジャーナリズムの発達が考えられる。

本選集はこのような人物情報の流れと多様化現象を客観的に反映し、さきに発表して好評を博した『日本人物誌選集』と同様の貴重書目を集めたものである。今日では入手不可能な資料を多く含むが、単に稀覯書目というだけでなく、同時代の正確な人物データは地名情報などと並んで、学校、研究機関、図書館等における基本図書の根幹をなすものであることはいうまでもない。

明治期の人物論は社会の高揚期を映し、スケールの大きな人物を当代一流の気宇壮大な論調をもって賞揚し、批判することにより、その後の人物評論の原型をなしている。逆に昭和に入ってから伝記は、近代人物の業績を跡づけ、整理したものとして参考になる。ゴシップの類もいまとなつては人物に肉付けをほどこすための資料ともなる。各時代に特有の資料的性格に留意すれば、新たな文献としての価値を発見し得るであろう。

以上、本選集の特色を要約すれば、狭義の人物誌の枠を拡大し、研究者間に需用の多い資料をはじめ、とかく見落とされがちな資料にも照明をあてることにある。これらを通じて近代の人間像についての補完的な視点を提供することも、また大きな目的といえよう。

すでに多くの伝記資料が出ているような人物はいうまでもなく、通常の人名事典では検索できない人名をも含む本選集は、どの一冊にも時代色が濃厚に感じられ、普段に繙くことによつて新たな発見が期待される。実り多い研究にいささかなりとも資することを願つて、本集成を江湖におくるものである。

第9巻

鳥飛兎走録

石川半山著／大正元年／北文館

〔内容〕 福沢諭吉、福地桜痴、西郷従道、田中正造、下田歌子、三宅雪嶺 ほか

大正婦人立志伝

沢田撫松著／大正11年／大日本雄弁会

〔内容〕 上野松園、鳩山春子、棚橋絢子、矢島樞子、山田わか子、三輪田真佐子、跡見花隠、吉岡弥生、嘉悦孝子、桜井ちか子、山脇房子、大妻コタカ、戸板関子、三宅花圃、小寺菊子、亀高加寿子

第10巻

当世策士伝

鶴崎鷺城著／大正3年／東亜堂

〔内容〕 江藤新平、後藤象次郎、陸奥宗光、川上操六、荒尾精、山県有朋、桂太郎、原敬、後藤新平、杉山茂丸 ほか

奇物凡物

鶴崎鷺城著／大正4年／隆文館図書

〔内容〕 三浦梧楼、副島義一、竹越三又、建部遯吾、南方熊輔、巖谷小波、秋山定輔、和田垣謙三 ほか

第11巻

人物研究

サンデー社編著・発行／大正2年

〔内容〕 新政党の人物（松井柏軒）、立憲同志会の少壮幹部（花和尚）、首相としての五大政治家（柏村逸民、歴代内閣の出色人物（鉄拳禅）、世界の革命的思想家（暮村隠士）、人物評論家月旦（横山源之助） ほか

第12巻

文壇太平記

相馬健作著／大正15年／万生閣

〔内容〕 文士生活観、文壇出世物語、処女作物語、作家印象記、文壇盛衰記、文士今昔物語、女流評判記、文壇修業記、天才物語、投書家物語、同人雑誌物語、現代文士列伝、当世文士氣質、文壇ゴシップ、逸話

演芸風聞録

水谷乙次郎著／昭和5年／朝日新聞社

〔内容〕 明治四十一年から四十四年の劇界芸界の裏面史

第13巻

学芸史上の人々

森銚三著／昭和18年／二見書房

〔内容〕 最上徳内、本多利明、伊能忠敬、秦蘊丸、木村謙、間宮林蔵、林子平、高山彦九郎、蒲生君平、坪井信道、鈴木春山、本間玄調、野呂介石、井上通泰

書国崎人伝

岡野他家夫著／昭和37年／桃源社

〔内容〕 新聞雑誌と宮武外骨、校正の神様神代種亮、小唄の竹山人、書痴詩仙洞主人、柳北仙史、荷風散人、天才的少年詩人・飛来鴻、当世崎人伝

第14巻

近代 日本の科学者 一

堀川豊永編／昭和16、17年／人文閣

〔内容〕 北里柴三郎（高野六郎）、青山胤通（高田郷徳）、秦佐八郎（小林六造）、野口英世（鈴木要吾）、古在由直（末松直次）、石川千代松（野田次郎）、三好学（渡辺清彦）、辰野金吾（岸田日出刀）、今裕（竹村文祥）、鈴木梅太郎（枝元長夫）、白沢保美（佐藤敬二）、牧野富太郎（中村造）、本多光太郎（三枝彦雄）、木村栄（村上忠敬）

第15巻

近代 日本の科学者 二

堀川豊永編／昭和17年／人文閣

〔内容〕 小金井良精（横尾安夫）、佐々木隆興（小池重）、池野成一郎（野原茂六）、田中館愛橘（小野澄之助）、長岡半太郎（岡谷辰治）、長与又郎（鈴木要吉）、高峰譲吉（塩原又策）、佐々木忠次郎（岡島銀次）、寺田寅彦（深尾重光）、古市公威（丹羽鋤彦）

第10巻 奇物凡物

奇物凡物

博士三宅雪嶺

上

◎日本に天下一品と名の附くものが三つある。それは政治界に於ける犬養木堂、浪人界に於ける頭山滿翁、而して思想界に於ける雪嶺三宅雄次郎である。木堂が政治家として多くの私淑者がある如く、雪嶺も哲人として多くの崇拜者を有つて居る。

◎由來加賀からは一風變つた人物が出る。中にも三宅は其最も著しき一人である。既に年少の時より變り、大學時代にも變り、大學を出てから後も變り、而して此變つた處に一種の風格を看ることが出来る。

◎大學を出たのは十六年、鶴原定吉、穂積八束、坪内雄藏などと同時代で、十人の筆頭であつた。一時文部省の小役人になつたと思ふが、癩に障つたか嫌ひになつたか、御免を蒙つて筆の人になつた。それ以來今日まで論著に一身を捧げて居る。

第13巻 学芸史上の人々

伊能忠敬

一

理學士大谷亮吉氏が帝國學士院の囑によつて作られた「伊能忠敬」の一書は、明治以後に成つた幾多の傳記中でも最も優秀なるものの一に居り、忠敬の事蹟は殆どこの書に盡されてゐるの感がある。但し忠敬は、過去のわが國の生んだ偉大なる世界的學者の一人であつた。或はその第一人者であつたといつてもよいかも知れない。それだけにまたその人に關する資料は、斷簡零墨までもこれを珍重したくなる。さうした意味から、こゝに私は大谷氏その他、從來忠敬のことを筆にしてゐる人々の使用せらるゝに及ばなかつた資料の二三を紹介しておいて見ようと思ふ。

その最初に掲げるのは、帝國圖書館に藏する小宮山楓軒の自筆本懷寶日札第十一冊中の記載である。始の二條は、その後の附記に據つて、忠敬の製圖の作成にも参加して、忠敬とは特別の關係にあつた、下總國香取郡津宮の儒久保木竹應の語るところだつたことが知られる。同冊は文政元年八月より書始められてゐる。左の二條もまた同年中に記すところだつたのである。

「伊能勘解由、實は先達て歸泉なり。繪圖御用近く終るゆへ、衷を秘しおくとなり。」

忠敬は文政元年四月十三日に七十四歳にして歿したのであるが、その後三年有餘を経て、文政四年

第14巻 近代日本の科学者 一

一、生涯

北里柴三郎は嘉永五年十二月二十日肥後國阿蘇郡小國郷北里村に生れた。北里家は地方の舊家であつたが、當時は餘り豊でない小庄家の家柄であつた。家計の都合などもあつたことと思はれるが彼は幼時から親類に預けられ、多くは他家の飯で育つた。其の預けられた先で十歳前後の頑童柴三郎が雑巾がけをして、磨き上げた椽側が後には記念品として大切に保存されたといふ話がある。つまり甘くは育てられなかつたのである。此の養育方針は俊敏なる母の慮によつたものの如くである。

十五歳になつて熊本へ本式の學問修業に出た。彼は學問の質もよかつたがそれよりも武藝が好きで、折しも維新の風雲に際會し、大言壯語大に天下國家を論じたものである。彼の第一の志望は軍人となつて、三軍を叱咤することであつた。最も嫌ひなのは醫者と坊主であつた。然し身邊の事情に餘儀なくされて熊本醫學學校に入學することになつた。彼としては醫學

日本人物誌選集 第二回全7巻

紀田順一郎 監修・解説

- 第9巻 鳥飛兎走録、大正婦人立志伝 定価13,000円(税別) ISBN978-4-87733-411-6
- 第10巻 当世策士伝、奇物凡物 定価12,000円(税別) ISBN978-4-87733-412-3
- 第11巻 人物研究 定価12,000円(税別) ISBN978-4-87733-413-0
- 第12巻 文壇太平記、演芸風聞録 定価14,000円(税別) ISBN978-4-87733-414-7
- 第13巻 学芸史上の人々、書国崎人伝 定価14,000円(税別) ISBN978-4-87733-415-4
- 第14巻 近代日本の科学者 一 定価12,000円(税別) ISBN978-4-87733-416-1
- 第15巻 近代日本の科学者 二 定価13,000円(税別) ISBN978-4-87733-417-8

A5判/上製函入/クロス装 揃定価90,000円(税別)
平成20年2月末日刊行 ISBN978-4-87733-418-5(セット)

日本人物誌選集 全8巻

紀田順一郎 編・解説

- 第1巻 明治人物評論、続明治人物評論 定価 8,500円(税別) ISBN978-4-87733-376-8
- 第2巻 明治崎人伝、現代人物管見 定価14,000円(税別) ISBN978-4-87733-377-5
- 第3巻 文士の側面裏面、文壇の人・舞台の人 漫談・思ひもよらぬ話
定価16,000円(税別) ISBN978-4-87733-378-2
- 第4巻 日本老農伝 定価15,000円(税別) ISBN978-4-87733-379-9
- 第5巻 役者芸風記 定価10,000円(税別) ISBN978-4-87733-380-5
- 第6巻 近代美人伝 定価11,000円(税別) ISBN978-4-87733-381-2
- 第7巻 日本の産業指導者 定価10,000円(税別) ISBN978-4-87733-382-9
- 第8巻 異国廻路 死面列伝・旅芸人始末書、明治会見記
定価 9,500円(税別) ISBN978-4-87733-383-6

揃定価94,000円(税別) ISBN978-4-87733-384-3(セット)

近代世相風俗誌集 全9巻

紀田順一郎 編・解説

- ① 東京風俗志 上中下巻 定価13,000円(税別) ISBN4-87733-303-7
- ② 明治初年の世相 定価11,000円(税別) ISBN4-87733-304-5
- ③ 太政官時代 定価16,000円(税別) ISBN4-87733-305-3
- ④ 江戸と東京 風俗野史 定価12,000円(税別) ISBN4-87733-306-1
- ⑤ 明治時代の風俗 定価10,000円(税別) ISBN4-87733-307-X
- ⑥ 日本風俗史 定価 6,000円(税別) ISBN4-87733-308-8
- ⑦ 銀座百話、銀座・築地物語絵巻 定価11,500円(税別) ISBN4-87733-309-6
- ⑧ 明治詩話 定価 7,500円(税別) ISBN4-87733-310-X
- ⑨ 明治少年文化史話 定価 8,000円(税別) ISBN4-87733-311-8

揃定価95,000円(税別) ISBN4-87733-312-6(セット)

事物起源選集 全8巻

紀田順一郎 監修・解説

- ① 雅俗便覧 日本事物起原 金子 晋 編
事物原始考 松本 茂平 著 定価 8,200円(税別) ISBN4-87733-231-6
- ② 増訂 明治事物起原 石井 研堂 著 定価19,000円(税別) ISBN4-87733-232-4
- ③ 社会事物 起原と珍聞 植原 路郎 著
座談の泉 事はじめ・物はじめ 植原 路郎 著 定価 9,500円(税別) ISBN4-87733-233-2
- ④ 日本文化史 事物起源辞典 雨宮信一郎 著 定価 8,000円(税別) ISBN4-87733-234-0
- ⑤ 農業事物起原集成 大野 史朗 著 定価13,000円(税別) ISBN4-87733-235-9
- ⑥ 真説 事物起原大辞典 清教社編集部 編 定価14,000円(税別) ISBN4-87733-236-7
- ⑦ 日本事物起原誌 植原 路郎 著 定価 5,600円(税別) ISBN4-87733-237-5
- ⑧ 日本文化 事物起源考 速水 建夫 著 定価11,000円(税別) ISBN4-87733-238-3

揃定価88,300円(税別) ISBN4-87733-230-8(セット)

事物起源選集 第二回全5巻

紀田順一郎 監修・解説

- ⑨ ものしり事典 言語、文化篇 日置 昌一 著 定価13,000円(税別) ISBN4-87733-259-6
- ⑩ ものしり事典 風俗、女性篇 日置 昌一 著 定価13,000円(税別) ISBN4-87733-260-X
- ⑪ ものしり事典 芸能娯楽篇 日置 昌一 著 定価13,000円(税別) ISBN4-87733-261-8
- ⑫ ものしり事典 政治、宗教篇 日置 昌一 著 定価13,000円(税別) ISBN4-87733-262-6
- ⑬ ものしり事典 飲食、医薬篇 日置 昌一 著 定価13,000円(税別) ISBN4-87733-263-4

揃定価65,000円(税別) ISBN4-87733-258-8(セット)

近代名著解題選集 全7巻

紀田順一郎 監修・解説

- ① 世界名著解題 定価12,000円(税別) ISBN4-87733-328-2
- ② 名著解題大辞典 定価15,000円(税別) ISBN4-87733-329-0
- ③ 日本文学書誌 定価20,000円(税別) ISBN4-87733-330-4
- ④ 書物から見た明治の文芸 定価11,000円(税別) ISBN4-87733-331-2
- ⑤ 鎖国時代 日本人の海外知識 定価11,000円(税別) ISBN4-87733-332-0
- ⑥ 総合編年 近代文学事典 定価 8,000円(税別) ISBN4-87733-333-9
- ⑦ 近代日本名著解題 定価10,000円(税別) ISBN4-87733-334-7

揃定価87,000円(税別) ISBN4-87733-335-5(セット)

精選社会風俗資料集 全8巻

紀田順一郎 監修・解説

- 第1巻 変態十二史 (一)
- 第2巻 変態十二史 (二)
- 第3巻 変態十二史 (三)
- 第4巻 変態文献叢書 (一)
- 第5巻 変態文献叢書 (二)
- 第6巻 軟派十二考
- 第7巻 明治性的珍聞史 ほか
- 第8巻 日本性的風俗辞典

揃定価90,000円(税別) ISBN4-87733-347-9(セット)